

八幡地区防火対象物の予防査察



松江南消防署消防一課の皆さんが、最新のタンク付き消防ポンプ自動車で来社されました。

松江南消防署による八幡地区の防火対象物の予防査察が行われました。

全国火災予防運動の期間中は、一般住宅の予防査察が行われます。事業所の予防査察は普段なかなかすることができなかったそうですが、今回、八幡地区を実施することになりました。

八幡地区（鉄工団地）は昭和39年に造成され、翌40年から、建物が出来ました。約40年経ち、建物も消防設備も老朽化し、消防設備は更新の時期にきています。また、油タンクやガスタンクなど危険性が高い施設が密集しています。万一災害が起これば、大事になる可能性があります。

各事業所は、災害が起こらぬよう半年毎の消防設備点検とそれらを3年に1回消防署に報告することになっています。査察の結果は、半分以上の事業所が未実施でした。未実施の事業所に対しては、消防計画をたて、それに基づいた消防通報避難計画を実施するよう、指導されました。（課長補佐 松本様にお話を伺いました。）

私たちの役割は、地域で油漏れが起きた時には迅速に対応し、油の拡散を防ぐことです。また、油地下タンク等のメンテナンスをし、各施設の安全性を高めます。これからも、地域の環境を守っていきます。

繁盛店訪問

株式会社 田中商店 様

〒689-2501鳥取県東伯郡琴浦町赤碕2540-14
TEL 0858-55-2088
FAX 0858-55-0257
<http://www.tanaka-shoten.com>



2005年、現在地に移転新築されました。業務内容は、一般貨物と農産物などの運送業と赤崎港鮮魚仲買業で、運送業を主体とされています。鳥取県中部管内は、芝の生産で有名です。また、梨、ネギ、ブロッコリ、ミニトマトなども多く生産されており、地域に根ざした業務であると感じます。



昨年12月にホームページを立ち上げられました。「今をゼロと考えれば、マイナスになるこ

「信頼、安全、きめこまかな輸送内容で一番の会社になりたい」と明るく、はきはきとお答えいただいた、田中富恵美専務さま。マスコット犬のパン(左)とモコ(右)



とは無いと思います。当社や業界の事を載せて、お客様に興味をもってもらう。当社を知っていただき、活用されたい方はお電話でもいただくと、出会いが生まれます」と田中専務様がおっしゃいます。

「お客様のお荷物を預かる際は、お客様の荷物と同時にお客様のお気持ちをお預かりしていると思って大切に、安全・確実にお届け先まで運びます。お客様との信頼関係が一番です。お客様があつて、働かせてもらっています。事故がないことも信頼の証です。安全運転をいつも心がけています。」

社員の安全のことを考え、安全対策に積極的に取り組んでおられ、鳥取県でいち早く、デジタルタコメーターを全車に導入されています。

乗務員の運転を点数化し、評価します。スピードや運転の仕方がわかります。これにより大きな事故がなくなったそうです。万が一、事故等があったときにも、乗務員の運転状況が把握できます。点数化されたものは、社内で公開されます。他人の点数と比較することによって、「自分もがんばらなくては・・・」と好循環になっているそうです。社員教育にも繋がり、導入の成果を皆で確信しておられます。

また、豊富な車種を保有しており、運搬物の特徴や量に応じて車両を手配できます。お客様のご要望にはできる限り対応できます。



天使の羽のようなウイング車です。



従業員は25名、平均年齢は35～36才です。一人車一台担当で、洗車を励行されています。

今月の安全会議

『前回の安全会議で抽出した危険の対策を 考えました』

2月8日にそれぞれの部署であがっていた危険をもとに、次のような対策がとられました。松江営業所は2月16日に、出雲本社は2月23日に行いました。まだまだ継続していきます。

【収集作業において】

- ①ホースボックスから落下する。
- ②タンクローリーの上から落下する。
- ③タンクローリーのはしごを踏み外して落下する。
→滑り止めテープを付ける。
- ④営業所地下タンク付近の照明が車の影で暗い。
→照明の増設を検討する。
- ⑤他社で作業中に車でホースを踏まれた
→コンパクトなセーフティコーンを検討する。
- ⑥ドラムの蓋を開けるとき、中身が噴き出す。
→ウエスで覆う。



すべり止めテープを貼る箇所を確認します。

『私は次のように行動します』

- 長 野：車に乗るまえに車を一周して、タイヤ周りを確認する。
- 岸 本：工事部では、KYを実施している。今後も続けていく。
- 横 地：他社のひとと一緒に作業することがあるが、どこでもやっておられる。他社のKYも参考にしながら、自分にあてはめてみる。
- 矢 田：毎朝、KYを実施し、紙に書いて目に付くところに貼っておく。
- 遠 藤：どういうときに危ないか知っておれば、気をつけて作業する。作業前に周囲を見回し、考えて作業する。
- 大 國：自分が気を付けることを目に付くところに貼っておく。
- 伊達山：思い込みは厳禁。作業前に一人KYを実施する。
- 長谷川：すべり止めテープを貼る。
- 河上リーダー：今後も継続していくので皆が参加するよう活動していきます。



すべり止めテープを貼り、すべりにくくなりました。

関連会社便り・・・サマンサリフォーム松江 中国電力株式会社 第11回電化住宅 建築作品コンテスト 2007 リフォーム住宅部門 最優秀賞受賞



藤原建築家(写真左)と
新宮社員

会社全体でいただいた賞で、とてもうれしい。今回の工事に関わっていただいた皆さんと共に喜びを分かち合いたいと思います。施主様にも大変喜んでいただきました。

施主様の一番の目的は、高齢のお母さんと一緒に暮らしたいということ。お母さんの目線で全ての場所か

ら見渡せ、どの部屋にも行き来出来るよう考慮しました。施主様の想いが形になり、その想いに携わらせていただけたことに感謝します。(新宮談)

全く思いもかけず最優秀賞をいただきました。これからは「**ずっといっしょ 家族でありたい**」という理念で、お客さまが幸せになれば、結果私たちが幸せにすることも出来ることをひたすら信じて、松江でオンリーワンのリフォーム会社になります。

(山根社長記)



第12回本社一斉清掃の実施

平成20年2月23日 8:00～10:00

朝から、非常に強い風がふき、時折雨も降り、外での作業が危ない状態でした。道路のゴミ拾いは止め、構内のゴミ拾いをした後、事務所内の清掃をしました。分担を決め、それぞれ取りかかりました。

年末の大掃除という勢いで、換気扇、ブラインド、壁、蛍光灯、窓・・・拭けばぞうきんが茶色になるほどで、かなりやりがいを感しました。ブラインドは勢い余って、ステーが壊れてしまいました。

きれいにすることに一所懸命になって、写真をとることを忘れてしまいました。

しかし、皆で午前中一所懸命にみがいたので、かなりきれいになりました。とても気分がよかったです。(長野記)

河上リーダー談：今回の一斉清掃で一年を迎えることが出来ました。日頃から清掃し、一斉清掃を改めてやらなくてもいいようになればと思います。きれいにしたくなる気持ちになるように活動を続けます。今後も続けていきたいと思います。

研修受講報告

『「社員・現場」の声を聞く経営』 作間講師

日本経営合理化協会主催 20年2月27日

於：大阪・帝国ホテル

I 講義内容

会社を立ち上げた社長も元をたどれば、現場から始まり、多くのお客様と接する機会がありました。しかし、社長にまでなってしまうと、すべてのお客様と接することは出来ず、社員たちに任せるようになります。

今、お客様が何を考えておられ、我が社をどう思っているのかは、社長の耳にはなかなか入りません。いくら「ほう・れん・そう」と言っても、全てのお客様情報は入りません。待っていても入らなければ、こちらから社員へ近づき情報を仕入れることが、社長をはじめ管理職の仕事ではないでしょうか。社員の数だけ、情報もあります。お客様や会社に対しても良い意見を持っています。

もっと社員の声を聞いてみようではありませんか。前向きな意見がたくさん出てくるに違いありません。

II 講義より学んだこと、実行決意

顧客満足(CS)と同じくらい大切な従業員満足(ES)。共に働く仲間も大切にしなければ良い商品を市場に提供することは出来ないはず。働きやすい職場作りが、社員のやる気にも繋がり、いろいろな改善テーマも出てくる。家族・町内からも一目置かれる企業になるかもしれません。人が人を呼び、お客様がお客様を連れてくる。

縁あって共に働く社員たちが、働きやすくなる環境へと整備し、素晴らしいと言われる会社作りを目指します。 松下記

自分を高める今月の一冊

3月の指定図書

「島根のむかし話」を読んで

山口

この本を読み、改めて島根の方言のすごさに驚いた。子供にこの本のお話を聞かせようと声に出して読んでみた。いつも使っている言葉ではあるが、何かとてもおかしくなり、笑ってまともに読めなかった。子供もゲラゲラ笑っていた。

昔と違って今は、全国民が標準語を中心に生活している。誰が聞いてもわかるように、ニュースや新聞などでは標準語だ。でも地方で話す言葉は、昔ほどではないと思うが、方言が残っている。

なぜ残っているのだろうか。日本中で言葉の意味が通じないのに、なぜ使い続けるのだろうか。おそらく、郷土愛というものが方言を使い続けさせるのだと思う。自分はこの地に生まれてこの地で育った。だからこの地を誇りに思うし、この地の言葉を大切にしたい。そんな人々の心が残っているのではないだろうか。私も郷土愛を持ち、この言葉を大切にしていこう。

しかし、この本ではよく知らぬむこさんがでてきた。今はどうだろうか？



元氣の出る言葉

中村天風師

自分のことをするときと
同じ気持ちで
他人のことをしてあげてごらん

(「君に成功を贈る」より
日本経営合理化協会刊)



斐川平野で見つけた白鳥たち。まもなく北帰行が始まります。

自分を高める今月の一冊

3月の指定図書

「ガソリン」の本当の値段

石油高騰から始まる”食の危機”
岩間剛一著 (株)アスキー刊



今の石油高騰を見ると、30数年前の石油危機を思い出します。ちょうどその頃、我が社は、放置してあった廃油を見て「もったいない！国産の石油燃料を作ろう！」と創業されたのです。

前回は一過性で、やがて価格は落ち着きを取り戻したのですが、今回はどうも違うようです。冷静に今後の成り行きを学び、企業経営と私たちの生活に、間違いのないように対処していく必要があります。その意味でこの本は貴重です。

私たちの企業にとって、リサイクル事業はようやく追い風になりました。反面、競争の激化と廃油という資源がどうなるのかという、将来に対する不安材料は、私たちの行く手を大きく塞いでいます。

この時こそ、現状を冷静にかつ沈着に分析し、私たちの会社の20年、30年後を目指して、新しい方向を模索し、確立しておくことが大切です。続いてくる若い社員達のためにも。

山根記

原稿を公募します

本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、環境をテーマにしたものを希望します。薄謝ですが、原稿料を支払います。締め切りは、今月末です。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。

今月のクイズ

解答を下記の編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今回の賞品は、島根県安来市産「いちご」です。締切は3月末です。ふるってご応募ください。

Q初物を食べると寿命が○日伸びるといいますが、○に入る数字は何？



先月号の答えは「桃」でした。抽選の結果、江津市勢田さまが当選です。おめでとうございます。

応募用紙 (答)

会社名または住所、氏名

蔵書新着情報



2月に購入した本を紹介します。

誰でも貸し出し可能です。貸出、返却は井上社員を通してお願いします。

【書籍】

- | | | |
|------------------------------|----------------|--------------------|
| ・『石油もう一つの危機』 | 石井彰 | 日経BP社 |
| ・『思考の整理学』 | 外山滋比古 | ちくま文庫 |
| ・『オモニ』 | 小野順子 | 幻冬舎 |
| ・『「ガソリン」本当の値段』 | 岩間剛一 | アスキー新書 |
| ・『先着順採用、会議自由参加で世界一の小企業をつくった』 | 松浦元雄 講談社 | 矢野博業様より寄贈 |
| ・『最高指導者の条件』 | 李登輝 | PHP研究所 |
| ・『蔵人(クロード) 5巻』 | 尾瀬あきら | 小学館 |
| ・『小さな努力で大きく報われる法』 | 幸田露伴 / 渡部昇一 編述 | 三笠書房 日本経営合理化協会より寄贈 |
| ・『おとなの叱り方』 | 和田アキ子 | PHP新書 |

【雑誌】

- | | |
|---------------|---------------------|
| ・月刊「理念と経営」2月号 | コスモ教育出版 |
| ・日経レンディー3月号 | 日経ホーム出版社 |
| ・PHP No.718号 | サマンサジャパン(株)小野会長より寄贈 |

書籍の購入希望がありましたら、井上社員まで。検討の上、購入致します。ジャンルは問いません。

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

編集後記

石見銀山は昨秋、世界遺産に登録され、日本はもとより世界にその名を知られることになりました。銀の生産量が世界一であることは周知の事実ですが、環境に配慮された、自然に優しい鉱山であったということは、あまり知られていないのではないのでしょうか。当時、江戸から優秀な山師を呼び、鉱脈を探り当て、必要最低限に掘って、山を守っていたのです。16、17世紀ごろから植林活動も行われており、400年も掘り続けながら、環境を守った奇跡の鉱山なのです。このような時代で、すでに環境のことが考えられていたということは、日本人として誇りに思うとともに、今後も石見銀山の自然を守っていかなければならないと強く感じます。

発行日：毎月10日
発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470
FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部長 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)